

## 「財団提供調査について」

当財団では、助成対象者の利便に供する消費者調査を行います。これまで提供してきた助成対象者全体による共同調査（オムニバス調査）に代わり、2019年度は、個別カスタマイズ調査を含む2段階のウェブアンケートを実施。各助成対象者の要望に柔軟に対応します。

### 【① 財団専用のモニターパネルによる共通調査】

#### ②の個別カスタマイズ調査に先行して実施する共通調査。財団指定質問。

調査地域：首都圏+近畿圏。（東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山を想定）

調査対象：満15歳～65歳の男女個人。

回収件数：5,000件。（首都圏3,300サンプル、近畿圏：1,700サンプルを想定 ※人口構成比）

調査時期：2019年度の4月～6月頃を想定。

設問内容：対象者属性、衣食住、情報行動、消費行動、価値観、関心領域など30～35問程度

### 【② 助成対象者ごとの個別カスタマイズ調査】

#### ①の共通調査を活用した助成対象者の自由質問。

調査対象：上記の消費者ウェブアンケート共通調査の回答者から抽出することを想定。

調査①のデータと回答者IDによってマージが可能。

※1. 回答者の在住地域などを消費者ウェブアンケート共通調査とは異なる地域で実施したい場合、アンケート実施会社のモニターからの抽出も可能です。

調査時期：『消費者ウェブアンケート共通調査』の実施後。 ※2. 調査時期は個別に対応します

調査設計：次の5パターンから選択可能。

パターンA：『設問数15問、回収件数2,500件』

パターンB：『設問数30問、回収件数1,000件』

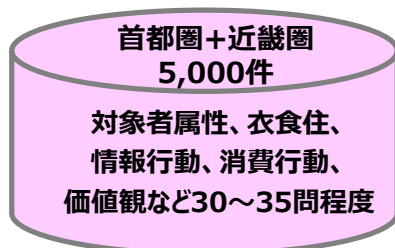
パターンC：『設問数50問、回収件数500件』

パターンD：『設問数15問、回収件数500件』の調査を2回実施

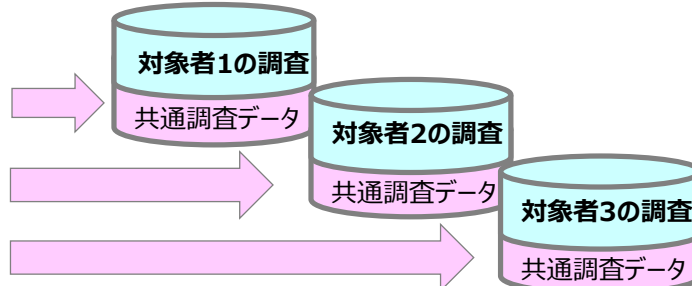
パターンE：インタビューや実験参加者20名のリクルーティング

※3. 例として、上記5パターンを掲載していますが、上記以外の調査設計の要望にも対応可能です。調査設計の詳細は、助成採択後に調整します。

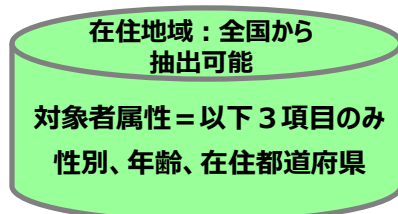
### 【財団専用のモニターパネルによる共通調査】



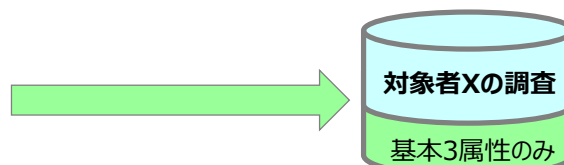
### 【助成対象者ごとの個別カスタマイズ調査】



### 【対象者をアンケート実施会社のモニターから抽出する場合】



### 【助成対象者ごとの個別カスタマイズ調査】



## 「財団提供調査について」

### <財団提供調査の特徴>

#### (財団専用のモニターパネル)

- ・東阪5,000サンプルの財団専用モニターパネル
- ・共通質問として属性、衣食住、情報行動、消費行動、価値観等をあらかじめ財団が聴取。全調査データを助成対象者に提供します。

※共通質問は12月1日に公開予定です

#### (助成対象者ごとの個別カスタマイズ調査)

個別カスタマイズ調査では、上記回答者の中から必要なサンプルを抽出することができます。

- ・設問数とサンプル数などを選べるセミカスタマイズが可能
- ・調査時期やサンプルの条件などの要望に対応 ※一定条件あり
- ・フリーアンサーの設定、静止画/動画の提示が可能
- ・リサーチャー2名体制で個別カスタマイズ調査をサポート
- ・追加費用を助成金から支出することで、調査回数、設問数、サンプル数などの要望にも対応

本調査の問合せ先  
マイボイスコム株式会社 第1リサーチチーム  
石橋正興 email : [ishibashi@myvoice.co.jp](mailto:ishibashi@myvoice.co.jp)

#### 調査結果の公開について

調査結果は、『財団データベース』として、当財団のホームページで公開します。

※過去に実施した消費者標本調査の結果は、下記URLよりご確認ください。

<http://www.yhmf.jp/data/omnibus.html>

※2019年度データは2020年度4月ごろに公開を行う予定です。